ぜんせき THE ZENSEKI

第7827号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

6月8日（金曜日）　2018年（平成30年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

資源エネルギー庁の次世代燃料供給インフラ研究会は5日、経済産業省内で第5回会合を開き、SSを中心とした燃料供給インフラの現状と課題、目指すべき将来像やその実現に向けた保安規制の見直しの必要性などを提言した報告書内容について議論した（6日付既報）。今後、参加委員の意見を踏まえ、内容を一部修正したうえで、取りまとめを安念潤司座長に一任することを決めた。意見交換で、全石連を代表し参加する出光泰典副会長は有事の際に不可欠なSSをこれ以上減らさないよう、SSの取り組みを後押しする規制緩和を強く要望した。また佐藤義信副会長は「平時の体制でいいとすれば、SS過疎地はさらに進む」と指摘し、有事を見据えたSSサプライチェーン維持・強化策の必要性を訴えた。

次世代燃料供給インフラ研究会

〝最後の砦〟使命全う

SS網維持で支援・規制緩和を

報告書案に意見を述べる佐藤副会長（右1人目）、出光副会長（左1人目）

報告書の取りまとめに向けた意見交換で、出光副会長は同会合で出席委員に配布した『SS経営革新ガイドブック』について説明。「全石連の会員の7割を占める小規模事業者に目線を置いて考えてきた。ただ汎用的なビジネスモデルはなく、SSの立地や顧客層、環境を考えると、経営者が自ら考えてやっていかなければならないということで、『経営革新＝経営者革新』として、経営者自らがどうとだけは我々としてはえるフレームワークを2年間かけて作り上げた」と述べた。

また、出光副会長は報告書案について、SSが6万ヵ所から3万ヵ所に激減した要因について、「自由化や規制緩和によって、大資本の論理で小手がどんどん淘汰されたというのが一番の原因ではない」と指摘。そのうえで「規制緩和が既存SSの市場退出を早期に促すような形になることだけは我々としてはどうしても避けたい。有事の際の〝最後の砦〟の使命が果たせなくなる」と強調し、いまあるSSをこれ以上減らさず、最大限有効活用していく政策支援や保安規制の見直しなどを要望した。

一方、佐藤副会長は石油業界の規制緩和・自由化を契機に、集客目的のためにSSを運営する大手大資本の異業種が次々と参入し、既存のSSが淘汰・廃業に追い込まれ、SS過疎地が拡大している現状に危機感を訴えた。そのうえで「我々は燃料供給の〝最後の砦〟として、ある意味日の丸を背負って災害時にも石油を供給してきた」と強調。「他の商品を販売するための集客にコスト削減して石油を販売していくことは平時にはいいが、災害発生時には石油が供給できなくなる体制になっていくのではないか。（燃料供給インフラを）国はどのような方向に進めていくのか」と質した。これに対し、小山和久石油流通課長は「いまいる販売業者の方々にインフラを支えていっていただきたい。いまの規制を前提に頑張るのではなく、少し見直して、人手不足の問題なども、インフラコストを抑えて経営をもっと改善していくような取り組みも必要になっているのではないか」と述べた。

一方、出席した委員からは「変化に伴うビジネスチャンスを前向きにとらえ、前向きに打開していくというのが、既存の事業者がいままあるノウハウを生かしていくうえで当然のことではないか」と、既存業者の奮起に期待を寄せた。

このほか「事業者の自助努力だけでなく、元売側の積極的な関与がもう少し必要なのではないか」や「日本はSSをブランドを確保した形で持っていることが強み。3万ヵ所のSSを日本人としてかにして価値付けていくのかという勝負にきている」とした。

安念座長は「（SSの燃料供給に対する）使命感を培うのは大変で、一度失われてしまうと二度と再現できない。それを市場メカニズムですべて賄うのは無理だ。そうなると、一定の行政、国の役割が必要であり、この報告書にも緊急時、過疎対策でそうした問題意識が表れている」と述べた。

石連週報 ガソリン出荷不振

石連週報による6月第1週（5月27日～6月2日）のガソリン出荷量は、前週比9・3%減、前年比13・8%減の80・5万キロリットルで3週連続で前年実績を割った。過去5年平均比でも10・2%減となり、7週連続の不振が続いている。

ガソリン生産量は前週比3・2%減の89・3万キロリットルに低下し、3週連続で100万キロリットル台を割り込んだ。在庫も前週比5%増、前年比6・5%減の185・4万キロリットルで12週連続の低水準だった。

軽油出荷量は前週比15・3%減、前年比12・2%増の61・7万キロリットルで好調。在庫は前週比0・5%増、前年比6・8%減の147万キロリットルで低い水準が続いている。灯油出荷量は前週比36・2%減、前年比33・8%減の86・1万キロリットル。在庫は前週比0・4%増、前年比12・5%増の151・8万キロリットルで余剰。（2面にDATA）

JXTG 出光・昭シ G卸1～1.5円安

販売業者筋によると前週比で、JXTGは7日からの基準仕切りを全油種1・5円値下げした。ガソリンの値下げは12週ぶりで今年度に入って初めて。出光も7日から週決め仕切りを全油種1・5円値下げ、ガソリンは12週ぶり。一方、昭シェルは7日から週決め仕切りを全油種1円値下げ、ガソリンは2週連続値下げで累計2円安となった。

系列2万3530SSに 社有比率4分の1超す

18年3月末

2018年3月末の元売系列SS数は、前年比で600ヵ所減（2・5%減）の2万3530ヵ所に縮小した。元売統合の中、全国的には市場正常化が進んだとされた17年度だが、前年の減少数が577ヵ所（2・3%減）だったことに比べると減少速度はやや速まった格好だ。

一方で、元売社有SSは46ヵ所減（0・8%減）の5912ヵ所となり、前年の135ヵ所減（2・2%減）と比べ減少速度は大きく鈍化した。この結果、販売業者所有SSは54ヵ所減（3・0%減）の1万7618ヵ所にまで縮小。元売統合に伴い、社有SSのスクラップ&ビルドが進むという観測もあったが、実際には販売業者所有が減った。系列SSに占める社有比率は前年の24・7%から25・1%に高まり、4分の1を超えた。

一方、セルフSS数は47ヵ所増の7920ヵ所となった。ただ、単年度の増加数が50ヵ所を割ったのは10年度以来7年ぶりの少なさ。この結果、SS数全体に占めるセルフ率は33・7%に上昇するにとどまった。社有セルフSS数は1ヵ所減の4012ヵ所となり、6年ぶりに前年比で減少した。セルフにおける社有比率も50・7%でわずかに低下した。

系列別では増加数が最も多かったのはJXTGの22ヵ所増だが、増加率は1・7%増の出光が最も高かった。

今週のガソリン小売市況概況（6月2週）

	全体概況	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	⇑	￥152	￥152	*札幌市・地場・系列*
北東北	⇑	￥142	￥146	秋田市・広域・系列
南東北	⇑	￥151	￥151	*仙台市・広域・系列*
信越	⇑	￥148	￥148	新潟市・地場・系列
北関東	⇗	￥139	￥139	宇都宮市・異業種・PB
首都圏	⇑	￥139	￥139	印西市・異業種・PB
山静	⇑	￥150	￥150	*静岡市・広域・系列*
東海	⇑	￥141	￥144	鈴鹿市・広域・系列
北陸	⇑	￥142	￥142	福井市・地場・系列
京阪	⇗	￥149	￥151	大東市・子会社・系列
阪神	⇑	￥151	￥151	神戸市・地場・系列
山陽	⇑	￥147	￥151	岡山市・地場・系列
山陰	⇑	￥150	￥150	*米子市・地場・系列*
四国	⇑	￥156	￥156	*高松市・地場・系列*
九州北	⇑	￥155	￥155	*福岡市・地場・系列*
九州中	⇑	￥147	￥147	熊本市・広域・PB
九州南	⇑	￥150	￥150	宮崎市・地場・PB

⇑0.5円超上昇、⇗小幅上昇、⇒横ばい、⇘小幅下落、⇓0.5円超下落

レギュラー小売 7週連騰 152.1円

エネ庁週市況

資源エネルギー庁による小売価格調査（4日・消費税込み）レギュラー全国平均は前週比1・1円高の152・1円と、7週連続の値上がりとなった。地域別では、5・2円高の高知、2・7円高の沖縄、2・3円高の秋田と長崎など43都道府県で値上がり。0・3円安の三重、0・1円安の富山と香川の3県で値下がりし、鳥取のみ横ばいとなった。

ハイオクは1・1円高の162・9円。軽油も1・0円高の130・4円。灯油は18リットル店頭が13円高の166円、配達が15円高の180円。（2面に県別データと「今週の地域市況」概況）

11日付（月）休刊

次号は14日（木）総会特集「合併号」

次号は全石連・全国石油協会の総会開催日に合わせ、13日（水）付および15日（金）付の〝合併号〟として14日（木）付で「総会特集号」を発行します。18日付から通常の発行体制に戻ります。ご承知ください。

論説

原点に立ち返って経営革新を

全石連通常総会が14日に福岡市で開催される。森体制が2期目を迎える今期は、燃料油販売という面では原油価格の高騰が、車回りの油外への取り組みという面では自動運転を見据えた先進技術の進展が、SSの現場に少なからぬ動揺を与える、一種騒がしい幕開けとなりそうだ。その意味では、SSの経営革新へ向けていきなり正念場を迎えることになる。

そうした中、SSの経営革新を目的とした取り組みとして思い出されるのが、16年前に国の補助事業としてスタートし様々なビジネスモデルを生み出した「実験・実用化試験事業」である。事業名が示唆するように、〝実験的〟でありながらも〝実用化〟を意識したビジネスモデルの提案を促し、次世代を見据えた経営革新に挑戦するSS事業者の支援を目的とした。

事業終了から10年。この補助事業を活用して実施されたビジネスモデルのうち、現在も継続中の事業はさすがにごくわずかだ。当時〝トライ&エラー〟とよく言われたように、SS事業者にとって〝実験的〟なビジネスモデルを〝実用化〟することがいかにハードルの高い作業だったかを如実に物語る。

一方で、そうした中で現在まで継続してきた事業には、ある明確な特色が見られる。それは本業である「燃料油販売」の合理化・効率化がビジネスモデルの柱となっているという点だ。灯油の共同配送や燃料油の共同仕入れなど、共同化・協業化に軸足を置いた事業が大半を占めるのはその証しと言える。

それは、新規性の高い事業に取り組むことの困難さを物語っているようにも受け取れるが、裏を返せば、本業を取り巻く部分にはまだまだ経営革新に向けた多くのヒントが隠されているとの受け止め方もできる。アイデアとやる気次第で新たなビジネスチャンスが生まれる可能性もあるし、経営の合理化・効率化につなげることもできる。そういう前向きな捉え方もできるということだ。

取り組んだことがないような、新規性の高いビジネスモデルに挑戦することも重要な方向性だが、燃料油販売がまだ当分の間はSSの経営基盤を支え続けるのも事実である以上、燃料油販売とそれに直結する車回りの事業をいま一度見直してみることは決して無駄ではない。なにかと周囲が騒がしいいまだからこそ、原点に立ち返って今後のSS経営を模索したい。

中国支部長に 広島・大野氏

5日に行われた総会では、全石連中国支部で任期満了に伴う役員改選が行われ、大野徹氏（大野石油店社長・昭シェル系＝写真）の新支部長就任を決めた。

宮崎 九電と全国初協定締結

災害時と平時の共同受注契約

【宮崎】宮崎石商（植松孝一理事長）と九州電力宮崎支社（新開明彦支社長）は4日、「災害時燃料優先供給協定」と「共同受注契約」を結んだ。災害時だけでなく平時から組合が供給するという取り組みは全国で初めて。

協定では、万一災害が発生した場合、同組合のSSは円滑・効率的な災害復旧作業を進めるために九州電力の緊急車両や施設に対し、ガソリン、軽油、A重油を優先的に供給する。また、これまで九州電力は特定のSSと契約して給油していたが、共同受注によって組合加盟の211社345ヵ所のSSで給油することが可能になった。事務は組合が一括して処理する。宮崎市内の同支社で行われた調印式では、植松理事長と新開支社長が協定書に調印し、握手した。新開支社長は「熊本地震で停電した地域には多数の電源車が出動し、多数のガソリンスタンドから給油していただき、燃料供給の大切さを痛感した。災害時だけでなく平常時からのお付き合いが大事であると思う」と述べた。

植松理事長は「石商は、SSが災害時には住民の暮らしを守る〝最後の砦〟という思いで取り組んでいる。全国に先駆けて協定と契約を結んだことは大きな意義がある。大災害は起こってはならないが、万一に備えて常日ごろから心構えをしておかなくてはならない」と強調した。

南海トラフ巨大地震が発生した場合、九州地方では宮崎が最も大きな被害が出ることが予想される。このため防災・減災に対する意識は高く、石商は県、第十管区海上保安本部などと優先給油協定を締結している。九州電力とは共同で災害訓練を実施するなど連携を深めたことが今回の締結につながった。

協定に調印し握手する植松理事長㊧と新開支社長

2018年 3月末・元売系列SS数

（単位:カ所、%）

	SS数 a	SS数 前年比	SS数 シェア	うち元売社有SS数 b	うち元売社有SS数 前年比	うち元売社有SS数 b/a	セルフ数 c	セルフ数 前年比	セルフ数 c/a	うち社有セルフ数 d	うち社有セルフ数 前年比	うち社有セルフ数 d/c
JXTG	13,304	▲344	56.5%	3,010	▲89	22.6%	4,318	22	32.5%	2,006	▲11	46.5%
出光	3,545	▲44	15.1%	1,149	2	32.4%	1,167	20	32.9%	743	9	63.7%
昭シ	3,028	▲95	12.9%	773	▲20	25.5%	1,005	7	33.2%	511	8	50.8%
出光+昭シ	6,573	▲139	27.9%	1,922	▲18	29.2%	2,172	27	33.0%	1,254	17	57.7%
コスモ	2,858	▲99	12.1%	767	65	26.8%	1,034	▲4	36.2%	576	▲5	55.7%
キグナス	459	▲15	2.0%	91	0	19.8%	230	3	50.1%	78	1	33.9%
太陽	336	▲3	1.4%	122	▲4	36.3%	166	▲1	49.4%	98	▲3	59.0%
合計	23,530	▲600	100.0%	5,912	▲46	25.1%	7,920	47	33.7%	4,012	▲1	50.7%

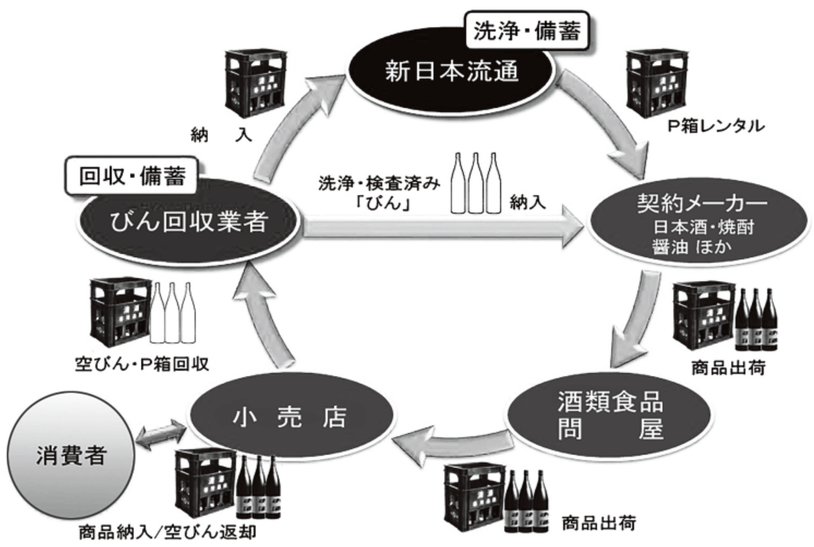
ポンプあいらんど

▼中東戦争を機に原油価格が急騰、世界経済を大混乱に陥れたオイル・ショック（1973年）。エネルギー源を中東に依存し切っていた我が国の消費者物価は「狂乱物価」と称されるほど高騰。原油価格とは直接関係のないトイレットペーパーや洗剤など多くの商品で買い占めが横行し、国民生活はパニック状態に▼同年イタリアでは石油王を狙った営利誘拐が発生。事件の一部始終が映画「ゲティ家の身代金」（公開中）に描かれている。石油王は米国のジャン・ポール・ゲティ（1892～1976）。原油採掘で財を成し中東に進出、世界一の大富豪となったゲティの孫がイタリアを旅行中、マフィアらに誘拐された▼身代金要求に対し類いまれなケチで知られるゲティは断固拒否。苛立つ犯人らは孫の耳を切り取って送り付け、次は足だと脅した。ゲティは身代金を大幅に減額、その金を孫の父親である息子に利子付きで貸し付け、節税策まで講じた▼現金受け渡しの週末、イタリアも石油危機で一般車の走行が全面禁止だったなど当時の背景も興味深い。孫は自力で脱出し事件は解決。大富豪は孤独のうちにこの世を去り会社も売却された。我が国の高度経済成長に終止符を打ち、原発立地を促進させたオイル・ショックから45年。世界一の金持ちは石油からIT産業に移った。

きょうの紙面

2面　都内各所で防災訓練
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報、週動向調査、石連週報
3面　東北版・むらのSS／愛知版・総代会・安定供給に期待
4面　トレンドファイル／'18灯油復権PJ①

P箱レンタル（リユース）の流れ



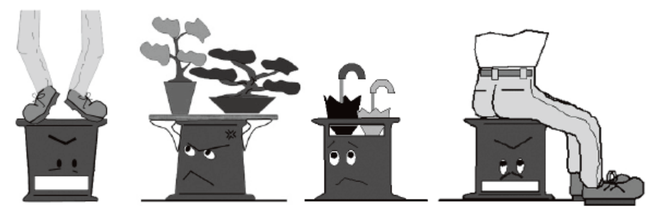
P箱（プラ箱）の返却にご協力下さい！

このP箱（プラ箱）は1.8ℓびん流通の為の箱です。
足場・踏み台としてのご使用はご遠慮下さい。
返却のお問合せは新日本流通(株)までご連絡ください。

上記P箱（プラ箱／茶色）は新日本流通（株）所有物件です。

循環型社会に対応したゴミを出さないシステムで運営しています。

下記の様な使用はご遠慮下さい…



新日本流通(株)　フリーダイヤル 0120-079-890
〒662-0971　兵庫県西宮市和上町6番10号　http://www.snr6p.co.jp/

危険物安全週間 都内各所で防災訓練

東京消防庁 危険物災害相互応援協と 油海上流出想定して

東京消防庁は5日、危険物安全週間行事の一環で出光興産やコスモ海運など38事業所で組織する東京危険物災害相互応援協議会と連携し、中央区の臨海消防署および朝潮ふ頭で危険物合同消防演習を実施した。

訓練は危険物輸送タンカーが船籍不明の船舶に激突され、操縦不能となり護岸に衝突し、衝撃で乗組員2名が海面に投げ出され、かつ積載している燃料が海面に流出したとの想定で開始。人命救助後にオイルフェンスを敷設し、消防舟艇や消防車による一斉放水で海洋汚染を防止した。

訓練終了後、同庁の山本豊予防部長は「ガソリンスタンドが社会のインフラであるように、危険物が我々の生活に不可欠なものである一方、気を緩めると大きな災害を引き起こしかねない。危険物に対する意識を再認識したうえで、危機保安体制に役立ててほしい」と総括した。

海上で行われた人命救助㊨とオイルフェンス展張訓練

葛西消防署、消防団も協力 50人規模の自衛演習

行船石油

行船石油（本社・江戸川区、田中一郎社長・JXTG系）は5日、危険物安全週間の恒例行事として東京消防庁葛西消防署（茂呂浩光署長）・葛西消防団の協力を得ながら自衛消防訓練を実施し、田中社長をはじめとする多数の同社幹部・従業員30人が参加、2時間超にわたってSSとコンビニを一時休業し、総勢50人規模で演習などを行った。また、停電時を想定して自家発電機に切り替え、最低限の電力を確保して業務を継続する同社独自の訓練も併催した。

今回は東京消防庁が4月に導入したバーチャルリアリティ（VR）防災体験車が持ち込まれ、家内での火災および自動車運転時の風水害をVRで体験。大型LEDビジョンで広報ビデオを前面道路側に上映する一方、ヘッドマウントディスプレイを装着して8人掛けのモーションシートに座り、振動、水しぶき、風圧などを実際に受けながら、災害の恐さを体感した。このほか、初期消火、AED、応急担架作成要領の各訓練も実施した。

あいさつで田中社長は「毎年この時期に自衛訓練を行っている。SSは日ごろから消防署のご指導のもとで安全に管理されているが、事故が起きる可能性もある。冷静に対応できるよう訓練を役立てて、地域の防災意識高揚にもつなげていきたい」、茂呂署長は「自助・共助を通じた災害対応能力を一層高めていただきたい」などと述べ、相互連携によって地域の安全安心を守り続けることで一致した。

㊤今春導入されたVR車で火災・風水害の恐さを体感、防災意識高揚を図った ㊦AED、応急担架の作成も体験した

今週のガソリン市況 6月第2週

全般的に横ばい傾向

◎北海道…札幌は横ばいでセルフ151円程度、フル152～4円、安値量販セルフ149・8円表示。旭川もセルフ151円、フル154円程度。安値量販SSは前週値上げしたものの、再び142・8円表示に下げている。

◎東北…セルフ価格は、仙台市がやや軟化し147～151円。福島市は引き締まって156円前後中心。秋田市は4～5円上がって146～7円。青森市も引き締まって140～153円。山形市は下値が軟化し140～155円。盛岡市は143～5円で変わらず。

◎信越…新潟は新潟市内で148円前後中心。上越、長岡市内でセルフ148～150円程度、柏崎148円前後中心。

◎北関東…前橋・高崎はセルフ150円前後中心。栃木は県北セルフ146～9円前後、県央144～9円中心、県南145円前後。茨城は150円前後中心。

◎首都圏…埼玉はセルフ147円前後中心。千葉は139～147円程度。

◎山静…静岡市内はセルフ150円以上、県西部150～2円、東部150～2円中心。山梨はセルフ150円程度で推移。

◎東海…ほぼ横ばい。愛知は名古屋市内などで週初めに2～3円の値下げや数円の値上げなどの動きが出てきたが、全体では現金セルフ150円前後で推移。バロンパークのPB進出で競争が激化していた刈谷市など西三河も145円前後まで値上げするセルフが目立ち、常滑りんくうタウンのコストコ132円、PBバロンパーク130・9円、現金フリー132・9円も据え置かれ一服感がある。三重は140円台半ば、津市内などで160円の系列SSも。岐阜は148～155円程度。

◎北陸…福井でカナショクやプラントなどPB同士が140円前後で争うが、全体に大きな変化はない。石川、福井は148～153円、富山も150～6円が大勢。

◎近畿…横ばい傾向で、阪神方面は149～151円、京阪方面は148～152円。京都は147～153円が中心で、滋賀は149～153円、奈良は奈良市が145～151円が中心、和歌山市内が142～152円。PBでも140円台の看板価格を掲示するSSは多い。

◎中国…セルフ価格は、岡山市内で2～4円上昇し149～151円に、鳥取県米子市内は148～9円前後、山口市内でも148～150円前後と横ばい。松江市内は150円前後中心で推移。

◎四国…高知市内は154円前後中心。徳島市内のセルフも141～3円前後と横ばい。高松市内はセルフ152円前後中心と横ばい。

◎九州…全体的に価格アップの動きが続いたが、やや落ち着いてきた。しかし、低価格競争が続いて転嫁できないままの地域も少なくない。福岡市中心部は155～7円が多い。長崎、大分は150円台後半が多い。

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

中国支部 供給網維持へ全力 1SSを守ってこそ

総各地区（代）会

全石連中国支部は5日に開催した通常総会で、SSがエネルギー供給の中心であり続けるため、中国5県のさらなる連携を図りつつ、時流の変化に対応できる経営を目指した活動、次世代に向けた支援などの諸事業に取り組むとした事業計画と総額2086万円の収支予算を承認した。任期満了に伴う役員改選では大野徹氏（大野石油店社長・昭シェル系）を新支部長に選任した。

冒頭のあいさつで大江英毅支部長は「燃料油の減少が進みつつある中で、1SS1ディーラーを守らなければ燃料供給のサプライチェーンは守れない。目の前の大きな問題に向き合う勇気と自助の力を持つことが求められている」と述べ、「我々は今後もエネルギー供給の〝最後の砦〟として地域社会への貢献を柱に、より信頼される業界を目指し尽力願いたい」と訴えた。

連携を図りつつ積極的に事業を推進していくとした中国支部（円内は大江支部長）

過疎地対策にも力を入れる長野（円内は渡邉理事長）

長野 〝過疎地対策〟急いで

長野は5日、通常総代会を開き、総代数・理事数の見直しや新規組合員の勧誘、「灯油まつり」の企画と推進、地域社会に向けたSSの社会貢献活動PRなどを盛り込んだ2018年度事業計画を決めるとともに、総額6395万円の予算を承認。来賓として、全石連の坂井信常務理事のほか、長野県の関昇一郎総務部長、西沢正隆県会議員らが出席した。

渡邉一正理事長はあいさつで「SSの過疎化が急速に進み、県内のSS数は1996年の1531ヵ所から現在は885ヵ所に減少した」と指摘。そのうえで「8月ごろを目途に県と協力し『いきいき信州住みよい地域創生』のため、『SS過疎地対策』を進めていく計画だ」と述べた。

会合の中で、出席者から「発券店値付け力ード」について、代行手数料の引き上げを求める意見が出た。渡邉理事長は「全石連などを通じ対応する」と応じた。

函館石協 厚沢部町と災害協定 「小樽モデル」を採用

【厚沢部町＝北海道】沢部町（蛯田正己町長）と「災害時における石油類燃料の供給等に関する協定」を締結した。厚沢部町役場で行われた調印式では、渡邉理事長と渋田町長が協定書に署名と捺印をして交換。協定内容は、これまで同石協が管内自治体と締結したものと同様で、中小石油販売業者の受注機会確保を担保する条文をポイントとした「北石連モデル」をさらに発展させ、災害時に町への優先供給を約束する組合員と、そうではない非組合員を明確化するために、組合員名簿を定期的に町に提出する条文を含む「小樽モデル」を採用している。

なお、函館石協はこれで管内の2市12町と災害時協定の締結を終えた。未締結は3町を残すのみとなった。

協定書を交換する渡邉理事長㊧と渋田町長

DATAコーナー

■石油先物市場・6／6
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高1,169枚）	
64,240	Δ310
63,910	Δ260
63,430	Δ260
63,090	Δ350
62,610	Δ200
62,320	Δ230
（前日出来高403枚）	
66,490	Δ440
66,350	Δ360
66,250	Δ290
66,360	Δ300
66,560	Δ280
66,810	Δ270
（前日出来高-枚）	
69,000	0
68,700	0
68,400	0
68,100	0
67,800	0
67,500	0

限月
ガソリン
⑦限月
⑧限月
⑨限月
⑩限月
⑪限月
⑫限月
灯　油
⑦限月
⑧限月
⑨限月
⑩限月
⑪限月
⑫限月
軽　油
⑦限月
⑧限月
⑨限月
⑩限月
⑪限月
⑫限月

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高81枚）	
64,790	Δ90
64,300	Δ700
63,200	0
62,600	0
62,200	0
62,500	0
（前日出来高36枚）	
66,600	Δ100
66,500	0
66,000	0
67,500	0
68,000	0
68,400	0

原油指標

		前日比
国内指標	＄／B	73.37（▲0.94）
	￥／KL	51,144（▲701）
WTI	＄／B	65.52（Δ0.77）
	￥／KL	45,675（Δ500）

■SS店頭市況週動向調査・6／4

レギュラー（単位：￥／L、↑値上げ、→同値、↓値下げ）								
北海道	153.4	↑	静岡	152.7	↑	鳥取	151.2	→
青森	151.3	↑	山梨	153.0	↑	島根	154.4	↑
岩手	149.9	↑	愛知	151.3	↑	山口	151.9	↑
宮城	151.1	↑	三重	151.8	↓	徳島	144.5	↑
福島	153.3	↑	岐阜	153.1	↑	高知	153.9	↑
秋田	150.9	↑	富山	152.4	↓	愛媛	153.4	↑
山形	153.8	↑	石川	149.3	↑	香川	149.7	↓
新潟	150.4	↑	福井	152.5	↑	福岡	153.3	↑
長野	155.4	↑	滋賀	150.7	↑	大分	155.6	↑
群馬	152.1	↑	京都	154.0	↑	佐賀	156.5	↑
栃木	150.0	↑	大阪	151.7	↑	長崎	160.9	↑
茨城	149.5	↑	奈良	150.1	↑	熊本	153.8	↑
千葉	148.5	↑	和歌山	150.7	↑	宮崎	151.8	↑
埼玉	148.0	↑	兵庫	150.6	↑	鹿児島	157.7	↑
東京	152.6	↑	岡山	148.4	↑	沖縄	156.7	↑
神奈川	151.9	↑	広島	150.6	↑	全国	152.1	↑

■国内供給統計（石連週報）・6月第1週末　（単位：千KL、%）

	東日本	西日本	合　計	前週比	前月比	前年比
①原油処理量	1,740.7	1,247.5	2,988.2	98.1%	87.5%	97.7%
②製油所稼働率	70.9	85.5	76.3	▲1.5	▲10.9	▲1.8
③石油製品在庫量						
ガソリン	878.6	975.0	1,853.7	105.0%	111.6%	93.5%
灯　油	1,033.9	483.9	1,517.8	100.4%	103.9%	112.5%
軽　油	792.4	677.7	1,470.1	100.5%	96.3%	93.2%
A 重 油	447.9	328.6	776.5	102.0%	98.4%	95.0%
6油種計	4,884.9	3,839.0	8,723.9	100.8%	101.6%	98.9%
④製品出荷量推計						
ガソリン	504.3	300.4	804.7	90.7%	84.2%	86.2%
灯　油	48.2	37.9	86.1	63.8%	92.4%	66.2%
軽　油	384.2	232.8	617.0	84.7%	141.1%	112.2%
A 重 油	72.1	72.5	144.7	70.6%	146.2%	85.1%
6油種計	1138.6	759.6	1,898.2	88.6%	112.4%	96.2%

石油流通課人事

▽資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課企画調整係長（産業技術環境局基準認証政策課係長）吉田拓矢▽経済産業政策局産業再生課係長（資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課企画調整係長）鈴木裕也

生活、産業、地域を支える 石油の力SSの力 中国地方整備局など ▶vol.288◀

路外給油 一時退出サービス周知に協力

国土交通省中国地方整備局と西日本高速道路では、給油や休憩のため高速道路からの一時退出を可能とするサービスの試行を新たに中国地方の4ヵ所の道の駅で開始した。この取り組みの普及のため、中国自動車道六日市ICそばの六日市石油店（小谷川洋三社長・JXTG系）では、来店客にチラシを配布したり、口頭で説明するなどして利用客に周知を呼びかけている。

高速道路での燃料切れは重大な事故につながる恐れがあることから、国土交通省中国地方整備局と西日本高速道路は、今年3月からETC2・0の搭載車を対象に、一時退出した後、指定の道の駅へ必ず立ち寄り、退出後1時間以内に退出したICから再流入すれば高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金に調整される「賢い料金」の試行を拡大。SA・PAの距離が離れていて、給油や休憩が不便になっている「舞ロードIC千代田」、「来夢とごうち」、「むいかいち温泉」、「奥大山」の4ヵ所の道の駅を追加し、すでに試行を開始していた「ソレーネ周南」と合わせて5ヵ所で試行を開始した。

このうちの1つ道の駅「むいかいち温泉」へ向かう途中にある六日市石油店・六日市SSでは、サービスルームにチラシを置き、来店客には口頭でこの取り組みを説明するなどして周知を図っている。

また同社はNEXCO西日本が15年4月にスタートさせた「路外給油サービス社会実験」にも協力しており、ETC2・0搭載車での社会実験が始まるまでは路外SSとしてSS内にETCカード読み取り機を置いて一時退出した車への給油を行っていた。

これまではゴールデンウィーク（GW）やお盆など高速道路が混雑する時期には当初の予想をはるかに超える月間100台を以上の車の利用があったというが、試行後初めての今年のGWはETC2・0搭載車が対象ということを知らず、従来のETC搭載車で給油に訪れる客が非常に多かったという。小谷川社長は「安心して一時退出して給油に来てもらえるよう、今後も周知に努めたい」とするが、「現状、ETC2・0の普及は進んでおらず、当面は従来のETCも並行して使えれば一時退出の利用促進になったのではないか」と指摘する。また「休憩のために道の駅を利用してもらうためにも、今後は道の駅自体の魅力も向上させる必要があるのではないか」と強調。地域を上げて利用者にいかに良質なサービスを提供できるか、しばらくは試行錯誤が続く。

チラシをSSで配布して周知を呼びかけている

TMC TOMINAGA MFG CO
高品位尿素水ディスペンサー
仕入れコストの削減に貢献！
尿素水の管理・給水作業もラクラク
POS連動可能で在庫管理もカンタン！
“燃料供給システム”の明日に取組む　http://www.kyoto-tmc.co.jp
尿素水
設置場所に合わせた自由なレイアウトが可能!!
ディスペンサーは1kLタンクには3台、2kLタンクには4台まで設置可能。
ディスペンサーとタンク間は、キャノピー柱を利用した露出配管、
または地下埋設配管で接続。
タンク　タンク別置き　メインディスペンサー　サブディスペンサー　サブディスペンサー
タンク　メインディスペンサー　サブディスペンサー　サブディスペンサー
株式会社富永製作所 〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88 営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市

東北
東北支局（仙台市青葉区二日町12-9 宮城県石油会館）022（225）1967

地域支える〝最後の砦〟

むらのSS

世界最大のブナ林がいという訳だ。広がる世界遺産・白神山地の恵みを受け、JR五能線が走る海岸の美しさで観光客を集める青森県深浦町。この町でもSS過疎が目前に迫る。人口減少が急速に進む中、海辺に建つ臨海SS（佐藤憲夫社長・JXTG系）は地域住民の生活を守る拠点となっている。

「ゴールデンウィーク中は石油の配達も休みたいんだが、なじみ客が困ると思うと休めない。農業用などで軽油や灯油の配達注文が『ぽつぽつ入る』」。佐藤社長が給油作業の傍ら本音を語る。

合併した旧岩崎村も含め深浦町内のSSは10ヵ所以上あったが、現在は6ヵ所。3つの地区にそれぞれSSが2ヵ所ずつ。臨海SSの客はほとんどが顔なじみの常連客で、注文が減る連休中も休めない。SSが町々に存在し続けることが国民の安全、安心につながっていくのであり、我々も消費者のため積極的に事業を進めていかねばならない」と持論を展開。「理事長職を引退させていただく。10期20年にわたりご協力いただき、感謝を申し上げる。素晴らしいエネルギーである石油を守るため、新

青森・深浦町　臨海SS（JXTG系）

需要に応え生活を支える

海沿いのSSに立つ佐藤社長

生活を支える存在になっている」と自己評価する。

地域の明るいニュースは地元で始まったサーモンの養殖。将来はまだ決まっていない。「長男はサラリーマン。跡を継いでもらえる会社にしたいが、どうなるか」。全国で深刻さを増すSS過疎の断面がそこにあった。

近隣に有名な不老ふ死温泉もあり、観光客で立ちいかなくなった。24歳だった佐藤社長がSSを買い取った。人口減少で顧客が減り続ける中、SSを維持してきた。

大量の油を使う大農家の顧客も以前はあったが、付き合い上、JAのSSに流れてしまった。顧客300人の雇用が計画されており、「若者が継いでもらえる会社にしたいが、どうなるか」。全国で深刻さを増すSS過疎の断面がそこにあった。

近はレンタカーで給油に訪れる客のほとんどが中国人。地元の観光施設でも外国人客が昨年の倍になっているというから期待したい」と話す。

「うちが無くなったら困る人が多い」と言うが、後継者はまだ決まっていない。「長男はサラリーマン。跡を継いでもらえる会社にしたいが、どうなるか」。全国で深刻さを増すSS過疎の断面がそこにあった。

興にも期待する。「最

持ち直しの動き判断据え置く

3月・鉱工業生産指数

東北経産局がまとめた東北の3月の鉱工業生産動向（速報）によると、鉱工業生産指数（季節調整後、2010年＝100）は前年比0・3％上昇の99・9で、3ヵ月ぶりのプラスとなった。

基調判断は「持ち直しの動き」を据え置いた。

業種別では、16業種中、上昇したのが半導体製造装置やカメラなどの「はん用・生産用・業務用機械」と「輸送用機械」など6業種。低下したのは「電子部品・デバイス」、「窯業・土石製品」など10業種だった。

理事長の下、一致団結して積極的な組合活動を行っていくよう祈念する」と語った。

西形氏は就任あいさつで「根本さんとは排気量が違うので馬力不足は否めないが、1期2年を条件に理事長を引き受けさせていただく。国民にとって大事な燃料である石油を守り抜いていかねばならないという根本さんの考えに同感だ。もっと若い方々の知恵と元気を組合に注いでもらいたいと考えており、お助けいただきたい」とさらなる協力を呼びかけた。

組合の最高顧問に就任した根本氏に、西形理事長から感謝状と花束が贈られた。

西形理事長は組合財政の健全化にも取り組む考えを表明しており、総代会で承認された本年度予算総額は9161万円と前年度予算より1135万円少ない緊縮型となった。

福島　西形新執行部が誕生

根本前理事長に感謝状

根本氏へ感謝状を渡す西形理事長

藤燃料専務・昭シェル系）、池嶋公二（白河商事専務・出光系）、中村謙信（会津日石販売社長・JXTG系）、東海林功（東海林石油社長・JXTG系）、吉田俊秀（伊達屋会長・コスモ系）の現職6氏を再任した。

福島石商・協（根本一彌理事長）はこのほど、会津若松市で通常総代会を開催し、福島発祥の『満タン&灯油プラス1缶運動』など災害対応強化に向けた取り組みや、官公需共同受注の推進などを柱をする事業計画と収支予算を承認した。

任期満了に伴う役員改選では、引退を表明した根本氏に代わる新理事長に西形健吉副理事長（西形商店会長・JXTG系＝写真）を選出した。

副理事長には、樋口幸一（樋口商店社長・出光系）、鈴木實（佐

福島 油政連　中村会長を再選へ

福島県石油政治連盟はこのほど、会津若松市で通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で中村謙信会長（写真）を再選した。

中村氏はあいさつで「前年度は県石油組合や全国油政連と協力し館（亀井文行館長）は、収蔵品の中から近、現代の日本美術を代表する作家の作品を中心に展示する常設展「カメイコレクション展　I期」を開催している。8月26日まで。

20世紀初頭に活躍した日本人作家に影響を与えたモーリス・ド・ヴラマンクや藤島武二、田村一男、鳥海青児、三好好太郎、佐伯祐三、椿貞雄、満谷国四郎、中村研一らの作品を展示。和田英作が地元・松島の夕景を描いた作品も鑑賞できる。

8月26日まで　日本美術常設展

カメイ美術館

仙台市のカメイ美術

界の窮状を訴えていってほしい」と協力を呼びかけた。

愛知　総代会来賓あいさつ　安定供給に期待

愛知石商・協（宇佐美三郎理事長）と愛知県石油政治連盟（太田啓一会長）は先ごろ名古屋市内で通常総代会を開催、新年度の活動を本格スタートさせた。需要減で苦境に立たされている業界を励まそうと大村秀章知事ら多くの来賓がかけつけエールを送った。

大村知事（写真上）は「組合の皆さんには災害時に備えてだけでなく、日ごろからものづくり県の経済を支える重要な役割を担っていただいており、改めて感謝申し上げる。本県は県民総生産で初めて大阪府を抜き全国2位。自動車、航空宇宙といった巨大な製造業を中心に日本経済をも支えており、今後もその役割をしっかり担っていきたい。そのためには産業の血液といえる石油の安定供給は不可欠であり、皆さんの協力を心からお願いしたい」と熱い口調であいさつした。

中部経産局資源エネルギー部の青木太久美部長（写真下）は「需要減に加え経営環境の見通しも厳しいものがあるが、SSは地域における

中部支局（名古屋市中区正木3-2-10 愛知県石油会館）052（321）6001

功労役員12人を表彰

愛知石商・協の総代会では功労役員表彰が行われた。今回は退任役員12人が対象。宇佐美三郎理事長から4年以上36年までの功労者に感謝状と記念品、4年未満の3人に記念品が贈られた。（受賞者は6月25日付3面で紙面掲載）

19年間理事を務め、宇佐美理事長から表彰される金田竹弘さん㊧（金田石油会長・JXTG系）

豊橋石協総会　石川理事長を4選

豊橋石協の通常総会がこのほど豊橋市内で開かれ、経営健全化や地域との共生、次世代に向けての情報収集と共有、共同購買・共済への積極参加など新年度の事業計画と1206万円の収支予算などを議決。任期満了に伴う役員改選で石川昌司理事長（渥美石油社長・コスモ系＝県石商・協副理事長）の4選をはじめとする新役員を承認した。

石川理事長（写真）は「1977年に組合員150人だった組織がいまや60人まで減少した。ここに出席の皆さんは大変な努力で会社を守り続けてきた訳で、感慨ひとしおと思う。しかし需要減だけでなく、後継者難や人手不足など経営を悩ます問題が次々と立ちはだかっている。この苦境を乗り切り将来につながる新たな投資可能な経営を目指すためにも適正利益を確保していこう」と力強く呼びかけた。総会では理事長歴任など役員44年を務めた金田竹弘氏（金田石油店）ら石協功労の5人に感謝状と記念品が贈られた。

留任を除く新役員は次の各氏（敬称略）。

▽金田年伸（金田石油店）▽坂本雅弘（坂本石油）▽伊藤幸典（伊藤石油店）

当選はがきを手にキャンペーンの成功を喜ぶ宇佐美グループ幹部

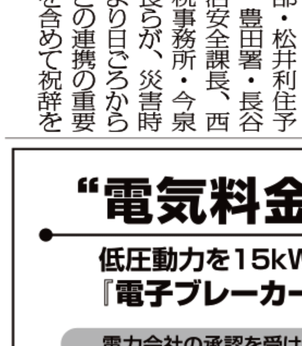
宇佐美グループ　リペアフェア当選者を決定

〝NAOS〟（直す）のロゴで来店客に定着している宇佐美グループのキャンペーン抽選会がこのほど宇佐美鉱油本社（名古屋市中村区）で行われた。

「キズ・ヘこみ直しフェア」として4月の1ヵ月間、全国600SSで展開されたこのキャンペーンには多くのユーザーが応え、修理台数、1台あたりの単価とも昨年を大きく上回っただけでなく、顧客の固定化の目立つほどに。期間中に宇佐美SSで修理した1646人ががきで応募。宇佐美三郎社長ら幹部によって豪華家電商品が30人に、応募者全員にタッチペンが贈られた。

のJXTGエネルギー・大石和宏支店長、出光興産・三浦秀樹統括支店長、コスモ石油マーケティング・宮本睦士支店長、昭和シェル石油・佐々木昭彦支店長、太陽石油・下田正和所長らが出席した。

石連と防災展で灯油機器PR　愛知



愛知石商（宇佐美三郎理事長）と石油連盟は、灯油の復権・普及を目指し、先ごろポートメッセ（名古屋市国際展示場）で、2日間にわたり開催された「中部ライフガードTEC2018」に出展、石油ファンヒーターなどを並べて来場者に灯油の良さをアピールした（写真）。

防災・減災・危機管理をテーマにしたこの催事には、官民合わせ約70機関・企業などが参加。同石商と石連は合同でブースを設け、最新の石油ストーブやエコフィールなどを展示。『満タン運動』のPRも兼ね、来場者に石油の安全性や経済性、災害時の重要性などを訴えた。

豊田みよし石協総会　力合わせて地域貢献

豊田みよし石協（山下一美理事長）の通常総会がこのほど豊田市内で開かれ、官公需受注の拡大、共同購買事業の推進、組織の活性化、各種情報の共有など2018年度の事業計画と875万円の収支予算など全議案を承認した。

就任2年目を迎えた山下理事長（写真）は「昨年の元売統合など大きな動きによって四半世紀に及んだ小売価格の過当競争も落ち着きを見せ始めたが、今度は毎週のように原油価格上昇に伴う値上げが続いている。急激な値上げの原因、決して小売りのSSが儲けるために上がっているのではないことをユーザーに適切、丁寧に説明して理解を求めていこう。災害時対応も含めSSの役割、地域社会への貢献を果たしていくためにも力を合わせ頑張っていこう」と訴えた。

来賓の豊田市・村上光彦市民安全室長、同消防本部・松井利佳予防課長、豊田署・長谷昭次生活安全課長、西三河県税事務所・今泉典久課長らが、災害時はもとより日ごろからの組合との連携の重要性などを含めて祝辞を述べた。

“電気料金”払い過ぎていませんか？
低圧動力を15kW以上にてご契約の方は、
『電子ブレーカー』を活用することで電気基本料金を見直せます！
電子ブレーカー 26,000件以上の導入実績
電力会社の承認を受ける公的に認められたコスト削減方法
高性能電子ブレーカー（CPU制御）を設置し、電力契約を変更することで電気料金を大幅に削減。
従来のブレーカー 必要以上の電気基本料金を支払う
電気基本料金の平均50%削減
高性能電子ブレーカー 電気基本料金を安く設定できる
■導入事例
あるガソリンスタンド様での導入実績
従来プラン 負荷設備契約 29kW 31,059円/月
新料金プラン 主開閉器契約 12kW 12,852円/月
削減料金 月額 18,207円 年間 218,484円
お問い合せは 全石連 共同事業G TEL：03（3593）5841

全石連の
リサイクルトナーカートリッジ
夏先取りフェア中（6/29まで） 下記価格より ALL 200円引き
送料無料・不要カートリッジ回収無料
業界最長クラスの18か月保証
canon
印字枚数 5,000 枚 @0.98円
EP-32 ￥4,900
印字枚数 3,500 枚 @1.40円
カートリッジ303（大容量） ￥4,900
印字枚数 12,000 枚 @0.62円
カートリッジ510Ⅱ ￥7,400
印字枚数 9,100 枚 @0.95円
カートリッジ515Ⅱ（30%増量） ￥8,600
印字枚数 8,300 枚 @0.77円
カートリッジ519Ⅱ（30%増量） ￥6,400
RICOH
印字枚数 5,000 枚 @1.08円
IPSiO SP3400H ￥5,400
印字枚数 19,500 枚 @0.40円
IPSiO SP6100H（30%増量） ￥7,800
OKI
印字枚数 2,500 枚 @1.52円
TNR-M4A ￥3,800
印字枚数 3,000 枚 @1.43円
TNR-M4B ￥4,300
印字枚数 12,000 枚 @0.72円
TNR-M4G2 ￥8,600
返却協力再生トナー … 仕様等は他の即納リサイクルトナーと同様ですが、ご使用後の空容器を必ずお戻しいただくことを条件としたトナーです。
RICOH
SPトナー6400H 印字枚数 10,000 枚 ￥7,000
SPトナー4500H 印字枚数 10,000 枚 ￥6,800
SPトナー4500 印字枚数 6,000 枚 ￥6,400
※価格はすべて税別
ご注文・お問合せは 最寄の石油組合または全石連共同事業グループ ☎03-3593-5841

ちゃんと「ちゃんと買い」してる？
基準※は、新車装着タイヤ。

※ブリヂストンの基準であり、タイヤ業界全体の基準ではありません。
株式会社ブリヂストン
［ブリヂストンお客様相談室］フリーダイヤル0120-39-2936　受付時間：月～金（祝日・当社指定休日は除く）9:00～17:00　月に一度は、空気圧の点検を！
www.bridgestone.co.jp
Worldwide Tire Partner

トレンドファイル

タツノ

上海国際技術輸出入交易会　IPHEフォーラム

水素機器を出展　2つの国際イベントで

環境

タツノは、先ごろ3日間にわたり上海市の上海万博展覧館で開催された「第6回上海国際技術輸出入交易会」で横浜市のブースに出展した。

この展示会は、中国の技術貿易の発展を促進させるための大規模な展示会で、上海市の最初の友好都市である横浜市は本展示会にゲストシティとして参加し、水素政策のPRを目的にブースを出展したもの。同社は横浜市に協力する企業として参加し、同ブース内に高圧水素ガスディスペンサー「Hydrogen-NXH」、新型コリオリ流量計、新型充填ノズル、新型緊急離脱カップリングを展示した。

上海国際技術輸出入交易会で、タツノは横浜市のブースに水素ディスペンサーなどを展示した

会期中は、水素エネルギーに興味を持つ関係者多数がブースを訪れ、横浜市と連携した同社の水素ビジネスの取り組みや高精度かつ高い安全性を有した各製品・各技術に深い関心を示した。

さらに同社はこのほど横浜市内で開催された「第29回IPHE（国際水素・燃料電池パートナーシップ）フォーラム」にも参加した。「IPHE」は水素・燃料電池にかかわる技術開発、基準・標準化、政策情報交換などを促進するための国際協力の枠組みの構築を目指して、2003年に米国を中心に結成されたもの。

今回のフォーラムは、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）と横浜市の共催に「水素社会の実現に向けて」をテーマに国際都市・横浜で開催されたもの。第1部では米国、独、中国、第2部では横浜市や日本国内の水素関連企業による水素ビジネスの取り組みや研究についての講演が行われた。会場内には水素ビジネスに関連する自治体・企業による展示コーナーが設けられ、同社は新型コリオリ流量計と新型充填ノズル、両製品の説明パネルと会社紹介のパネルを展示し、国内外のフォーラム参加者の注目を浴びた。

機工協総会

柳田昌宏会長続投へ

93人を永年勤続で表彰

日本自動車機械工具協会（柳田昌宏会長）はこのほど、2018年度通常総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で柳田会長の再選を満場一致で決めた。

「自動車の未来を切り開くという気概を持って技術革新に取り組んでいく」と語る柳田会長

議事では、17年6月1日から3日までの3日間、「支えよう、次世代の車社会を」をテーマに、東京ビッグサイトで「第35回オートサービスショー2017」を開催したことや、「自動車検査整備用機器の精度・機能・利便性等の向上の推進」に取り組んだことなどを報告した17年度事業報告並びに同決算報告を承認。さらに、「第36回オートサービスショー2019」の開催準備を進めることや協会創立70周年記念行事の実施などを盛り込んだ18年度事業計画並びに同収支予算を承認した。

なお、同総会の開催に先立って、永年勤続会長表彰を行い、20年以上勤続27人、10年以上勤続66人の合計93人に対して、柳田会長から表彰状が授与された。

冒頭のあいさつの中で柳田会長は「自動車産業はすそ野の広い基幹産業であり、自動車産業の動向そのものが日本経済全体に及ぼす影響は非常に大きい。当協会は自動車産業の一端を担う業界として、これからも経済成長に寄与する活動と、自動車の未来に向けた普及活動では、各地で催される住宅・防災・産業・環境関連展示会への出展や灯油・石油機器の経済性、環境性、安全性などをPRする石油フォーラムの開催、県石油組合と共催で機器メーカーの協力を得て、機器展示会などを開催する。

②全石連・県石油組合と連携した普及活動では、石油セミナーを開催し、石油情勢などに係る講演や石油機器の展示などを通じて、灯油と石油暖房機、エコフィールの普及促進を図る。また、全石連総会SSビジネス見本市（6月14日福岡市）に出展し、47都道府県石油組合の正副理事長をはじめ、地元・福岡県内、九州支部管内の組合員、元売各社の首脳、資源エネルギー庁幹部など、石油業界関係者が一堂に会する会場で、災害に強い石油機器や最新鋭の石油機器などを展示・紹介し、灯油供給事業モデルの紹介などを行っていく。今年も全国15ヵ所程度の自治体主催の防災訓練に参加し、防災用石油機器やPRパネルなどを展示し、災害などに備えた石油機器の配備や燃料備蓄を促していく。

③住宅・設備事業者への働きかけでは、全道住宅・設備事業者向けセミナーや東北石油暖房セミナーの開催、建設土事務所協会・設備設計事務所協会主催の会員向け技術講習会への講師の派遣などを通じて、石油暖房機、エコフィールの普及促進を図る。また、全石連総会SSビジネス見本市（6月14日福岡市）に出展し、47都道府県石油組合の正副理事長をはじめ、地元・福岡県内、九州支部管内の組合員、元売各社の首脳、資源エネルギー庁幹部など、石油業界関係者が一堂に会する会場で、災害に強い石油機器や最新鋭の石油機器などを展示・紹介し、灯油供給事業モデルの紹介などを行っていく。今年も全国15ヵ所程度の自治体主催の防災訓練に参加し、防災用石油機器やPRパネルなどを展示し、災害などに備えた石油機器の配備や燃料備蓄を促していく。

自機工総会

新理事長に辻修氏選任

高まる安全確保の役割

日本自動車機械器具工業会（山口伸一郎理事長）はこのほど2018年度通常総会を開催し、任期満了に伴う役員改選で、新理事長（東日本大変革期を迎えているが、この10年ぐらいで大きく変化したこととして、いままで個人のものとして存在してきた自動車が、ここへきてカーシェアなどに象徴されるように、社会資本的な要素の1つとして存在するようになってきたと感じる。そうした中で自動車の安全を確保する役割を担う当団体の存在する意義もますます高まるし、皆様のビジネスの将来性も大きく広がっていくと思う。今後ともご指導をお願いした

一致で承認した。また、議事終了後に18年度永年勤続優良従業員表彰を行い、6人の永年勤続従業員に表彰状を授与した。

冒頭のあいさつの中で山口理事長は「当団体は来年創立60周年の節目を迎える。自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えているが、この10年ぐらいで大きく変化したこととして、いままで個人のものとして存在してきた自動車が、ここへきてカーシェアなどに象徴されるように、社会資本的な要素の1つとして存在するようになってきたと感じる。そうした中で自動車の安全を確保する役割を担う当団体の存在する意義もますます高まるし、皆様のビジネスの将来性も大きく広がっていくと思う。今後ともご指導をお願いした

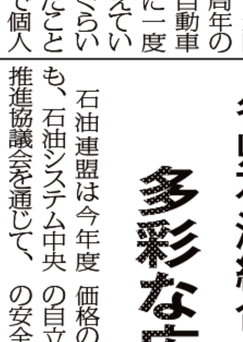
SS関連業界

ASS2019ポスター決まる

機工協

2019年5月16日から18日までの3日間、「東京ビッグサイト」に新設される『青海展示棟A・Bホール』において開催される「第36回オートサービスショー2019」のポスター図案（写真）が決定し、このほど開催された日本自動車機械工具協会の総会で発表された。

「第36回オートサービスショー」のテーマは「次世代へ、変わるクルマと自動車整備」。主催する日本自動車機械工具協会では、例年通り『オートサービスショー委員会』を設置してショーの企画・運営を行うとともに、広報活動にも積極的に取り組み、来場者・出展者がともに満足していただけるショーを目指して準備を進めていきたいとしている。委員長は今期から大山喜佐男副会長（イヤサカ会長）が務める。



永年勤続社員に表彰状を手渡す柳田会長

石油セミナースタート！

国内外の石油・エネルギー情勢や環境・エネルギー政策の動向、石油・SS業界の将来ビジョンなど、最新の石油・エネルギー情勢について解説する石油連盟主催の「石油セミナー」が、今年度も7月3日の北海道函館市での開催を皮切りにスタートする。7月を中心に9月にかけて北海道・東北・北関東・新潟の10会場で開催される。

函館皮切りに10会場で開催

最新石油情勢など解説

セミナーは石油連盟と日本ガス石油機器工業会などとの共催により各県石商がタイアップして、石油販売業界関係者をはじめ住宅設備機器事業者らに参加を募り、石油のエネルギー効率の高さや石油暖房・給湯機器の利便性や経済性などをアピールし、灯油の需要防衛や新規需要掘り起こしを図る。国内外の石油需給情勢や最新石油機器に関する情報発信・情報交換の場として毎年好評を得ており、今年も積極的な参加を呼びかけている。

石油セミナーでは、専門家・有識者によるエネルギー情勢などに関する講演に加え、石油機器メーカー各社からの最新の石油暖房機、高効率石油給湯器「エコフィール」などの展示・説明会も併せて行われる。

講師には総合資源エネルギー調査会基本政策分科会に参画し、エネルギー基本計画の策定に携わったほか、石油産業競争力研究会や次世代燃料供給インフラ研究会の委員としても石油産業の将来ビジョン策定にもかかわった、東京理科大学大学院教授の橘川武郎氏が、石油産業が抱える問題点や課題を踏まえ、SSの将来像や石油産業の国際競争力強化、海外展開などについて講演を行う予定。

また、東洋大学教授の小嶌正稔氏が情報化社会に対応したビジネスモデルのあり方などについて解説。さらに放送大学教授の高橋和夫氏が米国のトランプ政権と地政学的リスクが高まる中東情勢について、日本エネルギー経済研究所の山下ゆかり氏がEV化が石油需要に与える影響、亜細亜大学教授の後藤康浩氏が、急変するアジア情勢と日本のエネルギー情勢の変化について講演するなど、多種多様な業界の専門家らを招き、今後のSS経営に参考となる助言や提言が聞ける絶好の機会となっている。

展示・説明会は、災害などによる停電時でも使用可能な「自立防災型」のエコフィールなど最新鋭の給湯暖房機器や、煮炊きができる石油ストーブなど、最新の石油機器を体験できる場として注目が集まっている。

石油セミナー日程

日程	開催地	会場	講師・演題		
7月3日（火）	函館市	フォーポイントバイシェラトン函館	EV化の石油需要に与える影響	日本エネルギー経済研究所	山下ゆかり
			次世代SSインフラが担う役割	ローランド・ベルガー	大橋譲
7月4日（水）	前橋市	ラシーネ新前橋	石油産業とSSの未来	東京理科大学大学院教授	橘川武郎
7月10日（火）	青森市	ホテル青森	超情報化社会とビジネスモデルの開発	東洋大学教授	小嶌正稔
7月11日（水）	盛岡市	ホテルメトロポリタン盛岡	トランプ政権と中東	放送大学教授	高橋和夫
7月12日（木）	仙台市	仙台国際ホテル	トランプ時代の中東、そして日本	慶応大学大学院教授	田中浩一郎
7月17日（火）	札幌市	札幌グランドホテル	EV化の石油需要に与える影響	日本エネルギー経済研究所	山下ゆかり
			次世代SSインフラが担う役割	ローランド・ベルガー	大橋譲
7月18日（水）	水戸市	ホテルレイクビュー水戸	石油産業とSSの未来	東京理科大学教授	橘川武郎
7月19日（木）	郡山市	ホテルハマツ	急変するアジア情勢と日本のエネルギー	亜細亜大学教授	後藤康浩
7月20日（金）	山形市	山形グランドホテル	急変するアジア情勢と日本のエネルギー	亜細亜大学教授	後藤康浩
9月4日（火）	新潟市	ANAクラウンプラザホテル新潟	石油産業とSSの未来	東京理科大学大学院教授	橘川武郎

'18灯油復権プロジェクト　その1

各県石油組合との連携強化

多彩な広報活動を展開

石油連盟は今年度も、石油システム中央推進協議会を通じて、日本ガス石油機器工業会、全石連などと連携して、石油機器などの価格の優位性や災害時の自立性の高さ、機器の安全性などを一般消費者や自治体にアピールし、燃料油需要の維持・拡大に取り組む。

石油連道石油システムセンターが「住まいと暮らしのフェア2018 in つどーむ」に石油機器などを出展

石油連盟は群馬石商と渋川市長と面談し、石油機器、『満タン運動』をPR

具体的な実施事項は4つ。①一般消費者に向けた普及活動では、各地で催される住宅・防災・産業・環境関連展示会への出展や灯油・石油機器の経済性、環境性、安全性などをPRする石油フォーラムの開催、県石油組合と共催で機器メーカーの協力を得て、機器展示会などを開催する。

②全石連・県石油組合と連携した普及活動では、石油セミナーを開催し、石油情勢などに係る講演や石油機器の展示などを通じて、灯油と石油暖房機、エコフィールの普及促進を図る。また、全石連総会SSビジネス見本市（6月14日福岡市）に出展し、47都道府県石油組合の正副理事長をはじめ、地元・福岡県内、九州支部管内の組合員、元売各社の首脳、資源エネルギー庁幹部など、石油業界関係者が一堂に会する会場で、災害に強い石油機器や最新鋭の石油機器などを展示・紹介し、灯油供給事業モデルの紹介などを行っていく。今年も全国15ヵ所程度の自治体主催の防災訓練に参加し、防災用石油機器やPRパネルなどを展示し、災害などに備えた石油機器の配備や燃料備蓄を促していく。

③住宅・設備事業者への働きかけでは、全道住宅・設備事業者向けセミナーや東北石油暖房セミナーの開催、建設土事務所協会・設備設計事務所協会主催の会員向け技術講習会への講師の派遣などを通じて、石油暖房機、エコフィールの普及促進を図る。また、全石連総会SSビジネス見本市（6月14日福岡市）に出展し、47都道府県石油組合の正副理事長をはじめ、地元・福岡県内、九州支部管内の組合員、元売各社の首脳、資源エネルギー庁幹部など、石油業界関係者が一堂に会する会場で、災害に強い石油機器や最新鋭の石油機器などを展示・紹介し、灯油供給事業モデルの紹介などを行っていく。今年も全国15ヵ所程度の自治体主催の防災訓練に参加し、防災用石油機器やPRパネルなどを展示し、災害などに備えた石油機器の配備や燃料備蓄を促していく。